

## 子宮がん細胞診

年齢	頸部細胞診(ベセスダ分類)										体部細胞診		
	受診者数	要受診者数 (D判定)	NILM (陰性)	ASC-US	ASC-H	LSIL (軽度)	HSIL (中度)	HSIL (高度)	AGC (腺異型 または 腺癌疑)	判定 不能	受診者数	陰性	判定 不能
29歳以下	394	17	375	14	2	1	2	0	0	0	0	0	0
30-34歳	337	11	326	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0
35-39歳	708	17	691	12	2	1	0	1	1(1)	0	3	3	0
40-44歳	1,033	21	1,012	13	2	2	2	1	1(1)	0	7	7	0
45-49歳	1,333	30	1,303	20	8	1	0	1	0	0	20	20	0
50-54歳	1,463	17	1,445	12	3	1	0	0	1(1)	1	50	50	0
55-59歳	1,171	13	1,157	9	3	1	0	1(1)	0	0	37	36	1
60-64歳	828	10	818	4	5	1	0	0	0	0	14	13	1
65-69歳	525	5	520	1	1	0	0	2	1(1)	0	5	5	0
70歳以上	544	4	540	3	1	0	0	0	0	0	7	7	0
計	8,336	145	8,187	95	27	12	4	6(1)	4(4)	1	143	141	2
%		1.7	98.2	1.1	0.3	0.1	0.05	0.07	0.05	0.01		98.6	1.4

赤字はがん発見数

\*子宮頸部細胞診検査は、2023年4月より従来法(直接塗抹法)から液状化検体法へ変更しました。

子宮頸部細胞診検査の受診者数は8,336人、このうち要受診者数は145人(1.7%)でした。  
受診結果は、子宮頸がん4人、子宮体がん1人、CIN 3(頸部上皮内腫瘍)11人、CIN 2(中等度異形成)9人、CIN 1(軽度異形成)14人でした。

子宮体部細胞診検査の受診者数は143人、このうち要受診者数は0人、判定不能2人(1.4%)でした。

◇HPV(ヒトパピローマウイルス)検査の受診者数は、26~63歳の39人でした。  
検査結果は陰性が35人、陽性が4人(29歳以下が1人、30~34歳が1人、40~44歳が1人、50~54歳が1人)でした。

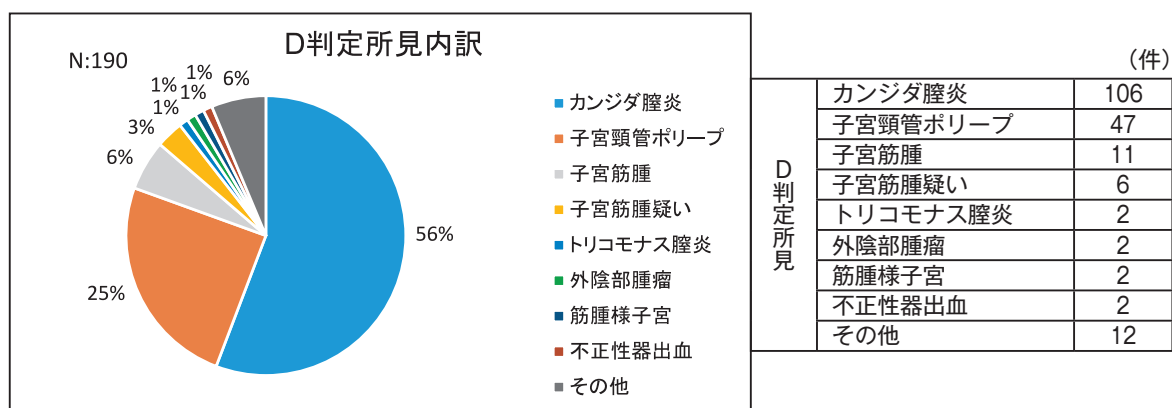
(病理検査結果は子宮頸癌取扱い規約(第4版)に準拠した結果です)

NILM	: 陰性	HSIL	: 上皮内癌
ASC-US	: 軽度扁平上皮内病変疑い	SCC	: 扁平上皮内癌
ASC-H	: 高度扁平上皮内病変疑い	AGC	: 腺異型または腺癌疑い
LSIL	: HPV感染	AIS	: 上皮内腺癌
LSIL	: 軽度異形成	Adenocarcinoma	: 腺癌
HSIL	: 中等度異形成	Other malig.	: その他の悪性腫瘍
HSIL	: 高度異形成	判定不能	

## 婦人科内診所見

年齢	受診者数	要精検者数 (D判定)	子宮筋腫	子宮筋腫疑	付属器腫瘍	付属器腫瘍疑	頸管ポリープ	その他
29歳以下	394	26	0	0	0	0	1	26
30-34歳	337	16	0	0	0	0	5	15
35-39歳	708	20	10	4	1	0	14	20
40-44歳	1,033	38	19	11	0	0	44	28
45-49歳	1,333	35	51	18	1	1	81	30
50-54歳	1,463	31	76	15	0	0	117	41
55-59歳	1,171	8	36	6	1	0	79	40
60-64歳	828	4	21	3	1	0	61	27
65-69歳	525	3	6	1	0	0	32	15
70歳以上	544	7	0	0	0	0	18	41
計	8,336	188	219	58	4	1	452	283
%		2.3	2.6	0.7	0.05	0.01	5.4	3.4

頸管ポリープは452人(5.4%)、子宮筋腫は219人(2.6%)、付属器腫瘍は4人(0.05%)でした。有所見者の中には、複数有所見者が50人いました。



その他12件は、子宮頸管ポリープ疑い、急性外陰炎、膣炎、子宮腔部のう腫、卵巣のう腫、卵巣腫瘍疑い、トリコモナス膣炎疑い、尖圭コンジローム疑い、子宮下垂、子宮脱、膣下垂、膣脱の各1件です。